

パンタナル通信

南北米福地開発協会

会報

2007年2月1日

41号

南北米福地開発協会新年会

2007年1月14日(大山会館)



当協会の会員の親睦を深める為、二〇〇七年の最初の集会を一月十四日、事務局前にある大山街道ふるさと会館において行ないました。東京ならびに東京近郊の県に在住する会員の方が参加しました。

当協会の副会長である桜井設雄氏から激励の挨拶があり、その後、当協会の活動に支援して下さる企業から提供された数々の商品の当たるビンゴゲームや会員の中から有志が歌を披露してくださり、楽しい交流の場を持ち、その後、今年の活動も活発に進めて行くことを確認いたしました。

本年度の主な活動は

- 一・南米、パラグアイ、レダの地で活躍する南北米
福地財団への継続的人材派遣と経済支援
 - 二・レダにおいて行なってきた植樹活動の検査の為、
専門家の派遣 (三月予定)
 - 三・地球環境保護教育の一環としてのエコツアーリズム
レダ地域開発の見学とレダ近郊の自然観察ならびに
世界最大の滝イグアス(世界遺産)等の見学 (五月予定)
 - 四・発展途上国への国際協力青年奉仕隊の派遣(八月予定)
 - 五・一日環境セミナーの定期開催 (三ヶ月に一度)
 - 六・二日セミナー(人間と自然との共生を為すには)
の開催 (三ヶ月に一度)
 - 七・地域活動の活発化(定期的勉強会を全国で開催)
 - 八・支援者(会員)の拡大
- 右記に記した内容は今日まで継続的に為してきた活動ですが本年は特に、レダにおいて再生可能なバイオエネルギー生産の画期的な試みが本格的に為される年であり、その成功のため、日本からの人的、経済的、そして情報収集支援がより一層、重要になってきています。難しいレダの土地の有効利用を成功させれば、それを同じ難しい環境にある地域に拡大、発展途上国の生活の向上に寄与出来るはずです。

飯野事務総長 レダ近郊訪問

(2006年12月17日、2007年1月3日-4日)



十二月十七日、エスペラ
ンサ村を飯野、上山で訪問。
希望されていた二つの小太
鼓を酋長を通して学校に贈
呈。後ろは当会が建てた
校舎。



アルトパラ
グアイ州知
事(行政区
域はバイア
ネグラから
カサドまで
入る。アコ
スタ氏)

一月三日 自宅訪問。庭に
テーブルと椅子を置いて会談。
レダでやってきたこと、どう
いう考えでやってきたか、
写真を見せて報告。
地球環境問題対策と啓蒙と
しての、植樹活動。
教育支援活動。青年ボラン
ティア隊毎年派遣、学校建設
と図書寄贈。
エコ・ツアー啓蒙と実践。
パンタナール観光に寄与。
バイオ・エネルギー生産の為
の研究と実験 時間と資金が
掛かるが、成功すれば近隣の
村々の経済効果に一助。植樹
活動の啓蒙にもなる。
特にバイオ・エネルギー生産
には、非常に心を動かされて
いた。全面的に協力したい、
と言っていた。



植樹後、も、ケアーをし、てい、く責、任、が、あり、担当、する、人が

オリンポ市、中学・高校の学校長
一月四日 (ロドリゲス氏)
以前から、図書の贈呈や図書室
天井資材の提供など、長年交流が
あるので、我々とはよく知りあっ
ている。
目的：今年の青年ボランティア
隊派遣受け入れ打診と打ち合わせ。
植樹の苗は我々が準備するが、
なんの木にするかは、今後話し合っ
て決めたい。
従来通り十名前後の日本からの
青年中心に、八月下旬から九月上
旬の間に予定している。そこで受
け入れ側を探しているが、それに
は、植樹する場所の提供、
一緒に協力して共同作業を行う
ボランティアの学生が必要、

必要(当面雨季までの一箇月間、
水を毎日注ぎ、家畜に食べられ
ないよう工夫する人)、少なく
とも先ず、この三点を責任持て
るところを探している。オリン
ポで受け入れる気持ちはあるか、
打診。「是非受け入れたい。自
分の学校で責任を持って対応す
る。生徒も出す。」と即断。そ
こで、「まずあなたの意志は分つ
たが、あなた方のコミッティで
よく話し合つて、書面で受け入
れに責任を持つ旨今月中に提出
して欲しい。その上で具体的プ
ランを検討し合い、準備して行
きましよう。」というところ、
「是非オリンポに迎えたい。その如
くに準備対応します。」と確約。
「一つ課題は、オリンポ市内は、
放し飼いのロバやヤギや豚など、
やたら家畜が目立ちます。家畜
対策を考えないといけません。」
と尋ねると、「苗木ごとに、困い
をします。」と即答。
実際は、学校の前の通りに街
路樹が植えられているが、もの
すごいしっかりした困いを三角
状に造っているのを見たが、何
か工夫が必要だ。

今年は環境に優しい石油代替エネルギー開発を！！



飯野事務総長を中心にレダにて新年を迎えた先生方

十二月二十三日 飯野報告

昨日は、定期船アキタバンが、鈴なりの人々と荷物で溢れていました。

クリスマス・年始の夏休み休暇が本格化し、年明け10日頃まで、労働者も殆ど帰りました。

二十二日午後、にわか雨が降り、植えたジャトロファには恵みの雨でした。

大山先生の帰国も間近で、二十三日朝、飛行機が来る予定でしたが、速くても明日になりそうです。

今日は飛行機が来ないことが分り、早速中田先生は、大きなトラクターに乗って第二の橋方面の道路整備に出かけました。

大山先生が滞在していた半年近くの期間の大半が、水が最も高く上がり、引いていくのに数ヶ月掛かったため、支流沿いの奥地への道路が、水没して使えなかつた為、第二の橋の方面に行つたことが無かつたというので、

私が車で案内してさし上げましたが、蒼く輝く水面に空の雲とヤシの木が映り、その向こうに大草原が広がり、つがいのトウユウや白鷺たちが憩う様や、草

花の鮮やかに咲いている様に、「気持ちがいいですねえ！」と感動しております。この年末年始、実質現場の責任を持たれる上山先生が、「この人数でどうやって行つたらいいんだろう」と心もと無い様子です。それでも数少ない労働者を連れて、草刈に行きました。雨季は春から

夏の期間ですから、草の成長の速いこと、一週間前に刈り取つた建物の周りの草がもう大きく伸びてきています。



ひまわり油から、ディーゼル（写真左端ビン）造り成功の中田先生。

右はジャトロファ栽培担当の伊達先生

ワールドウォッチ研究所

(地球白書 二〇〇六 七より)

【バイオディーゼルとは】

どんな燃料なのか】

エタノール以外で利用の多いバイオ燃料にはバイオディーゼル―植物油とアルコールを八対二の割合で混ぜて触媒を加え、グリセリンを分離させた後に残るさらさらした液体―がある。

軽油と任意の比率で混合しても、或いは純正で現行のディーゼルエンジンに使用してもよい。既存のエンジンには粘度が高すぎるが、二タンクシステム(軽油のタンクと植物油のタンクを搭載。軽油のタンクでエンジンを始動させ、数分間軽油で走行する。植物油が温まり粘度が下がったらタンクを切り替えて植物油で走行する。エンジンを切る前に再度タンクを切り替えて軽油で走行し、エンジン内に冷えた植物油が残らないようにする)採用の自動車なら走行可能だ。

【飛躍的拡大を遂げる】

バイオディーゼル】

世界のバイオディーゼルの九五%は菜種やヒマワリの種を主原料としてヨーロッパで生産

されている。ドイツが半分以上のシェアを有し、残りはほぼフランスとイタリアが占める。

生産量が急増しているブラジルとアメリカでは、原料に大豆を使うのが一般的となりつつある。アメリカの生産量は一九九九年の一九〇万リットルから二〇〇四年は九五〇〇万リットルへと飛躍的に増加した。

バイオディーゼルの小規模生産も伸びており、たとえば北アメリカの農家、飲食店から出る廃食用油でバイオディーゼル燃料を自給する地域共同組合、地場産植物油を原料とするスワジランドやタイやザンビアの地域社会など、様々な場所で作られている。

バイオディーゼル推進の動きは、一部で宗教的ともいえる熱気を帯びている。

毒性が無くそのままで生分解性を持ち、旧型車を若干改造すれば単独でも、軽油と混合しても使用可能で、健康を脅かす軽油と混合しても使用可能で、健康を脅かす軽油に代わる環境に優しい燃料というのが推進派の主張である。

【建設ラッシュが続く】

バイオ燃料工場】

従来からの燃料と同様、エタノールとバイオディーゼルの用途も陸上輸送に限らない。

ブラジルではエタノールを燃料とする小型飛行機が三〇〇機あまり航行している。世界有数の航空機メーカーで、初のエタノール飛行機を製造したエンブレエル社にはガソリン燃料機のエンジンをエタノール仕様に改造する依頼が殺到し、2年待ちの状況となっている。バイオディーゼルも海上輸送での利用が進みつつある。世界各国でバイオ燃料工場の開設が相次ぎ、短期生産量は急伸する見通しである。

中国吉林省には、アメリカの平均的な蒸留施設の八倍の生産能力を持つ世界最大のエタノール工場が誕生した。同国ではエタノールとガソリンの混合燃料を推進する市や省が増えている。一方、インドではディーゼル部門へのバイオディーゼルの進出を加速するためパイロット工場が建設されている。

(p111-112)

二日セミナー

二月十七、八日

川崎市民プラザ

詳しくは事務局
にお問い合わせ
ください。



二〇〇七年度 環境セミナー

第一回 三月十日

午前10時―午後5時まで

場所：南北米福地開発協会事務局

費用 三千元(昼食付き)

内容 地球温暖化と植樹の重要性、
レタ開発について

南北米福地開発協会 事務局

〒221-3100

神奈川県川崎市高津区

溝口311-15

岩崎ビル4F

電話 〇四四一八二九一二八二

Fax 八二九一二八二〇〇

会費納入 郵便口座

一〇一八〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦